

ものづくりの“心”をつたえる。



証券コード: 2169

# 2015年12月期 第2四半期 決算説明会資料

2015年8月28日

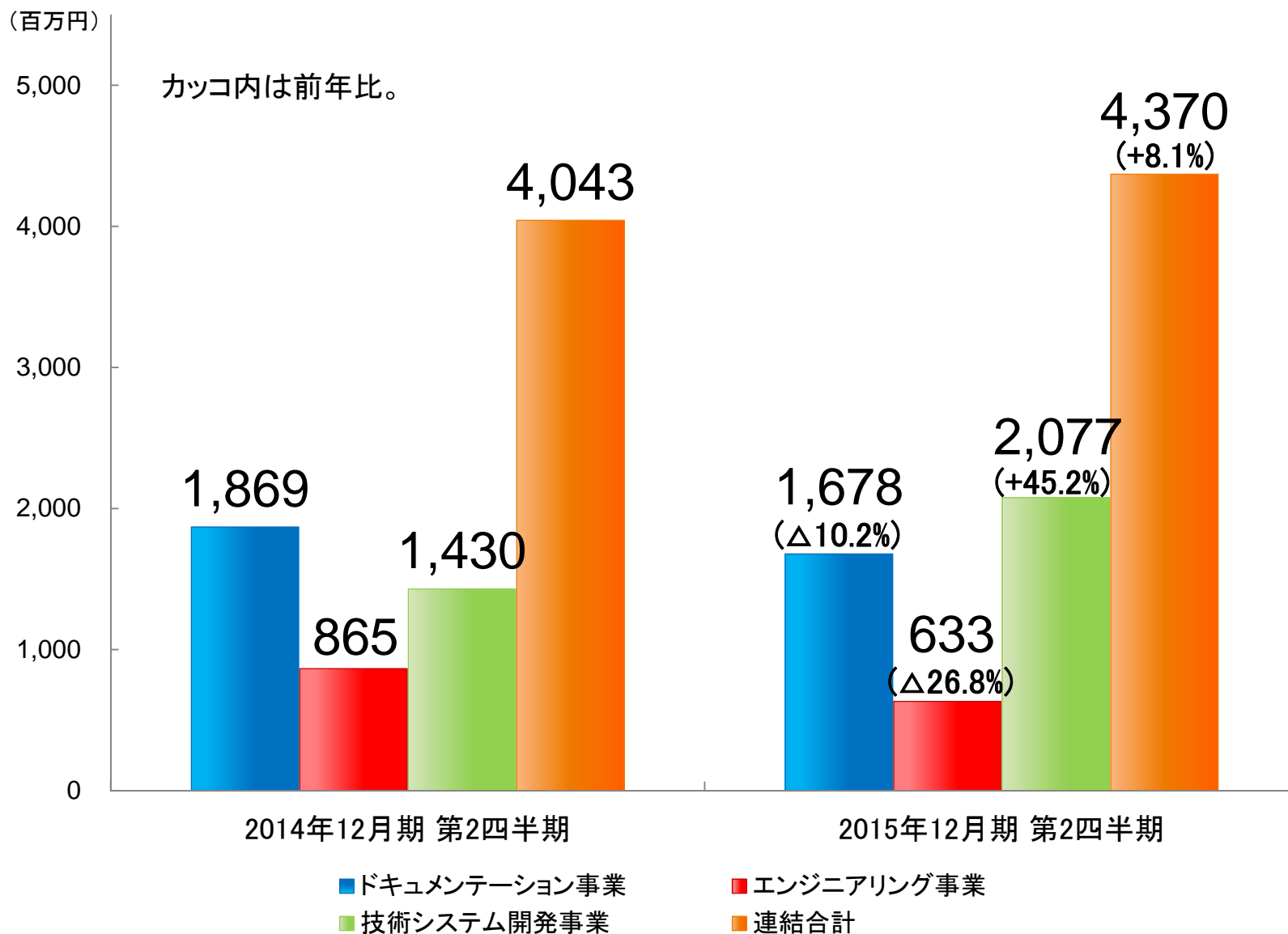


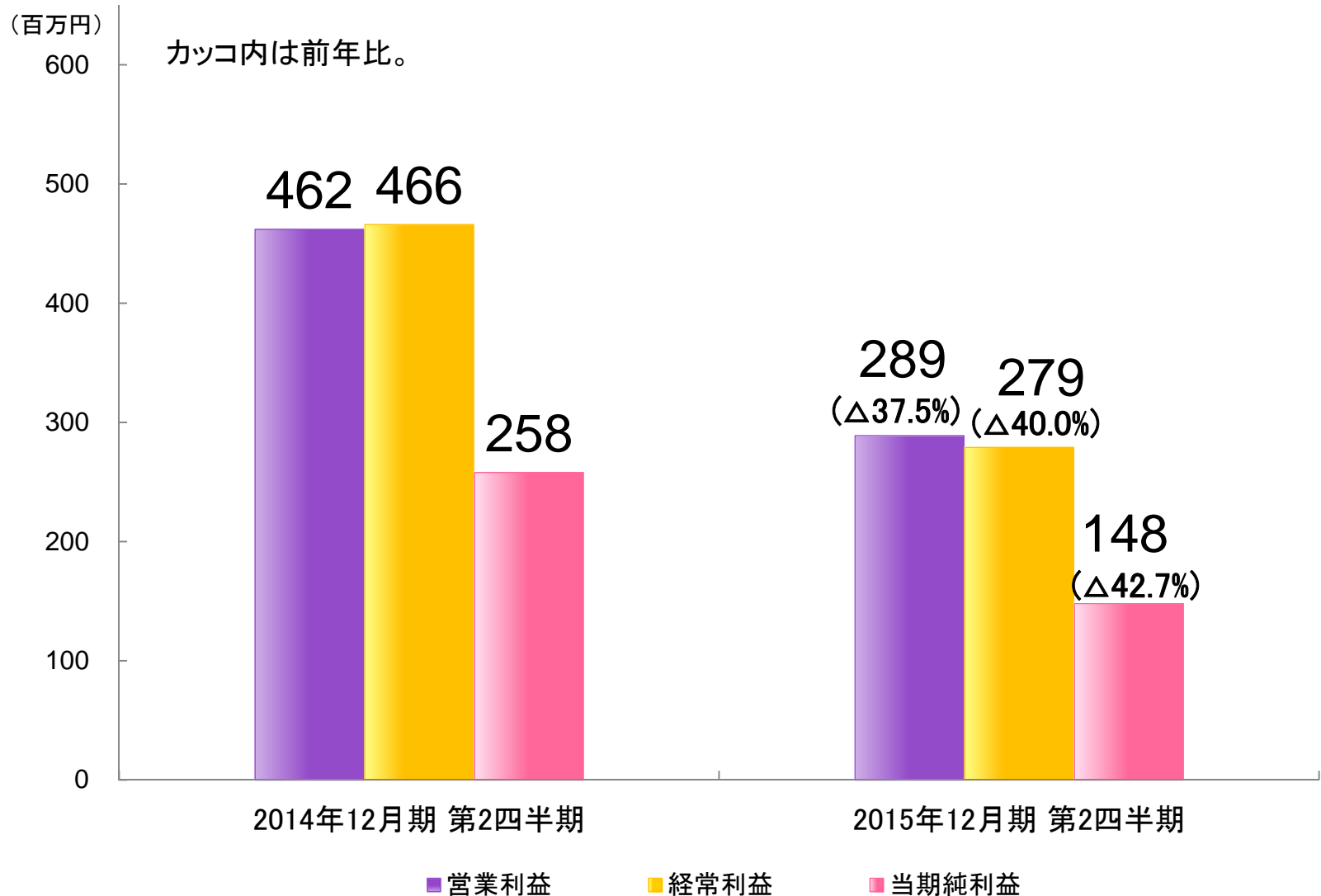
# 2015年 12月期 第2四半期決算

---

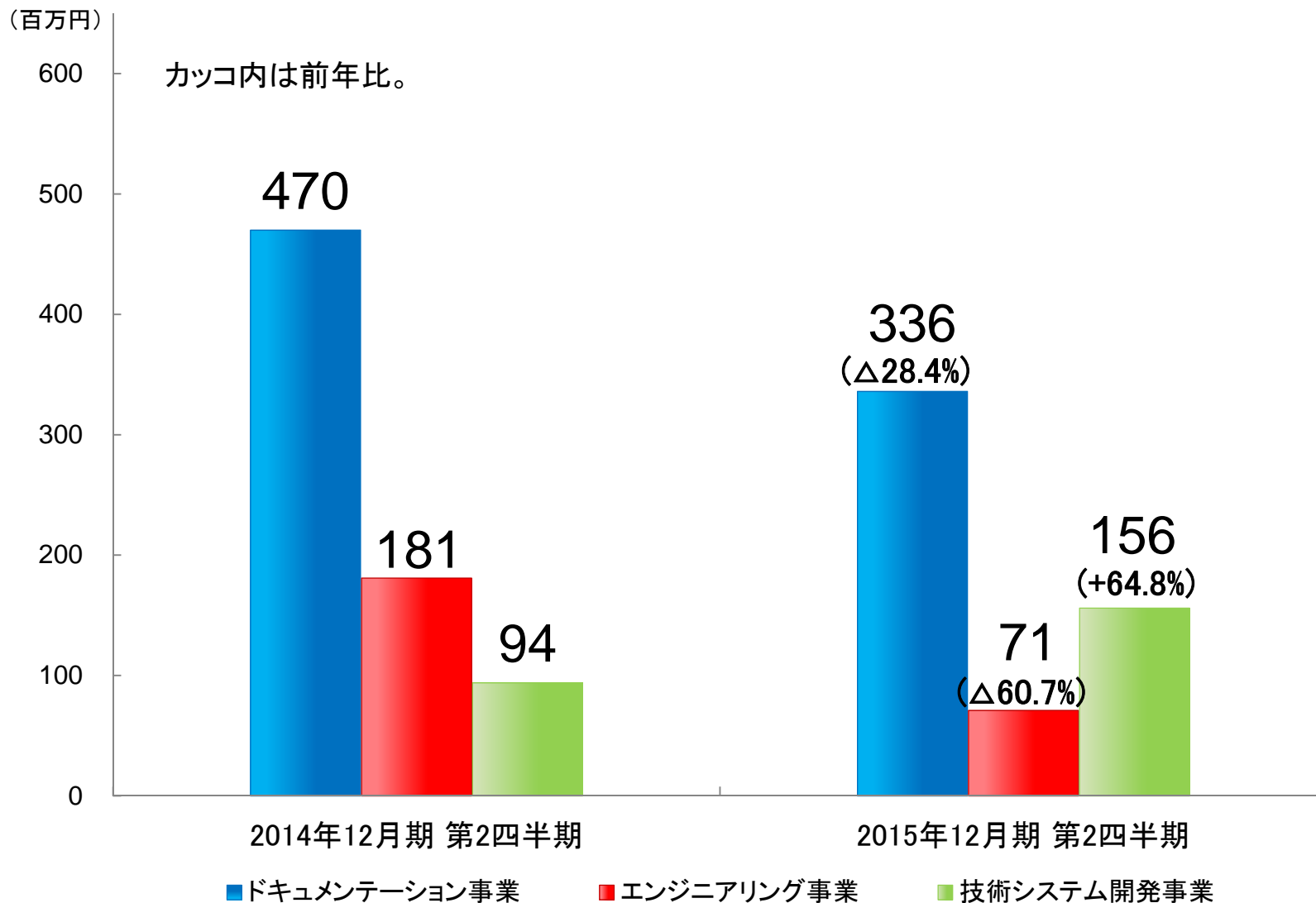
単位:百万円

	14年12月期 第2四半期	2015年12月期 第2四半期		
			前年比	増減額
売上高	4,043	4,370	+8.1%	+327
営業利益	462	289	△37.5%	△173
経常利益	466	279	△40.0%	△187
当期純利益	258	148	△42.7%	△110





# セグメント別 営業利益の推移



※ セグメント間調整は含まず。

## 増収減益要因

- ◇ ドキュメンテーション事業における顧客企業の機種開発計画の抑制等の影響、エンジニアリング事業での顧客企業の設備投資の遅れ、価格競争による受注の絞り込みにより、減収となった。
- ◇ 技術システム開発事業は商品販売が好調に推移したことで増収となり、グループ連結では増収。
- ◇ 主力事業が減収となったため、技術システム開発事業の増益分ではグループ連結の利益面での挽回までには至らず、減益となった。



# 2015年 12月期 業績予想

---

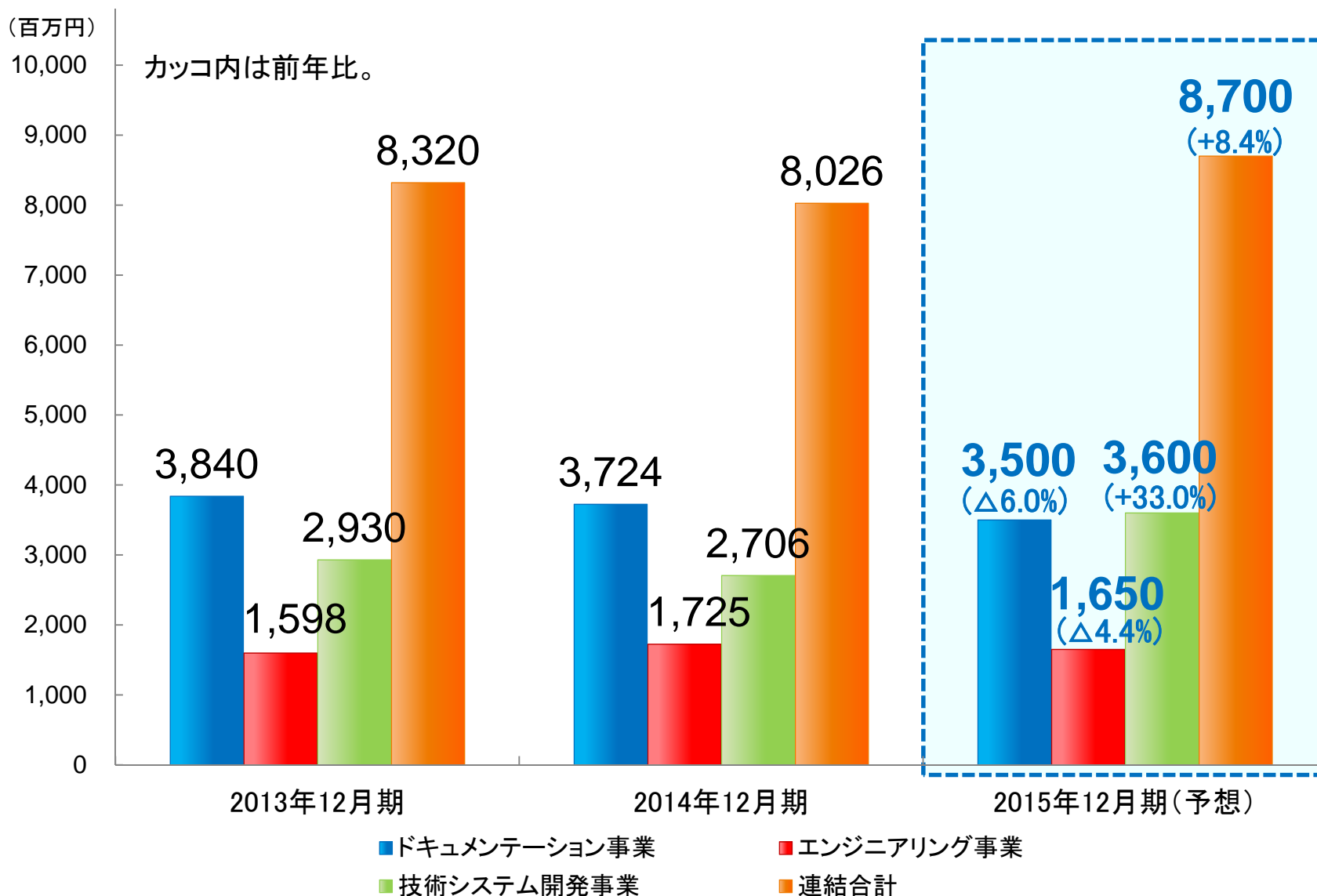


単位:百万円

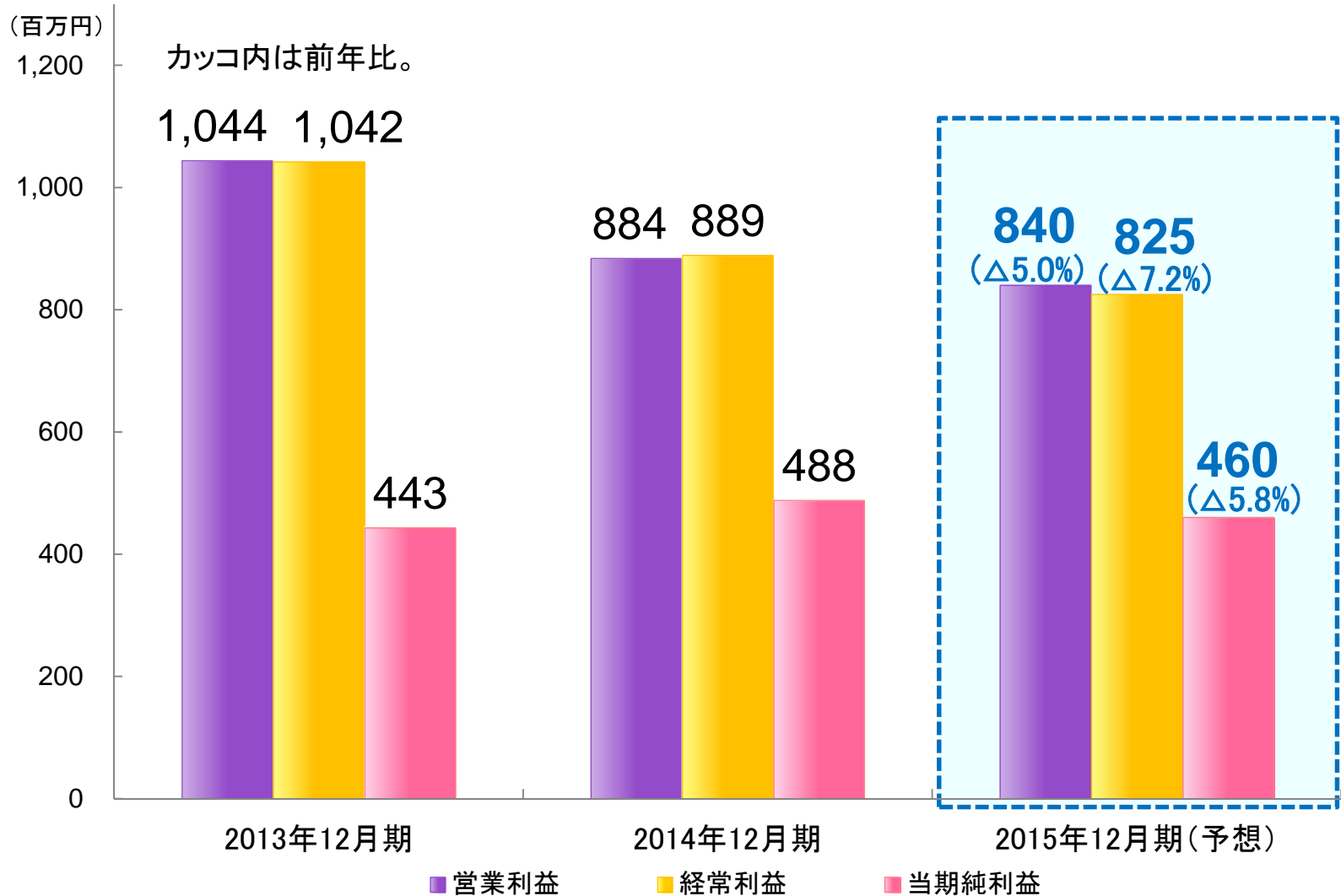
	2013年 12月期	2014年 12月期	2015年12月期(予想)		
			前年比	増減額	
売上高	8,320	8,026	8,700	+8.4%	+674
営業利益	1,044	884	840	△5.0%	△44
経常利益	1,042	889	825	△7.2%	△64
当期純利益	443	488	460	△5.8%	△28

※ 2013年は従業員持株インセンティブプランの分配金274百万円を特別損失に計上。

# 2015年12月期 連結売上高の事業別内訳(予想)

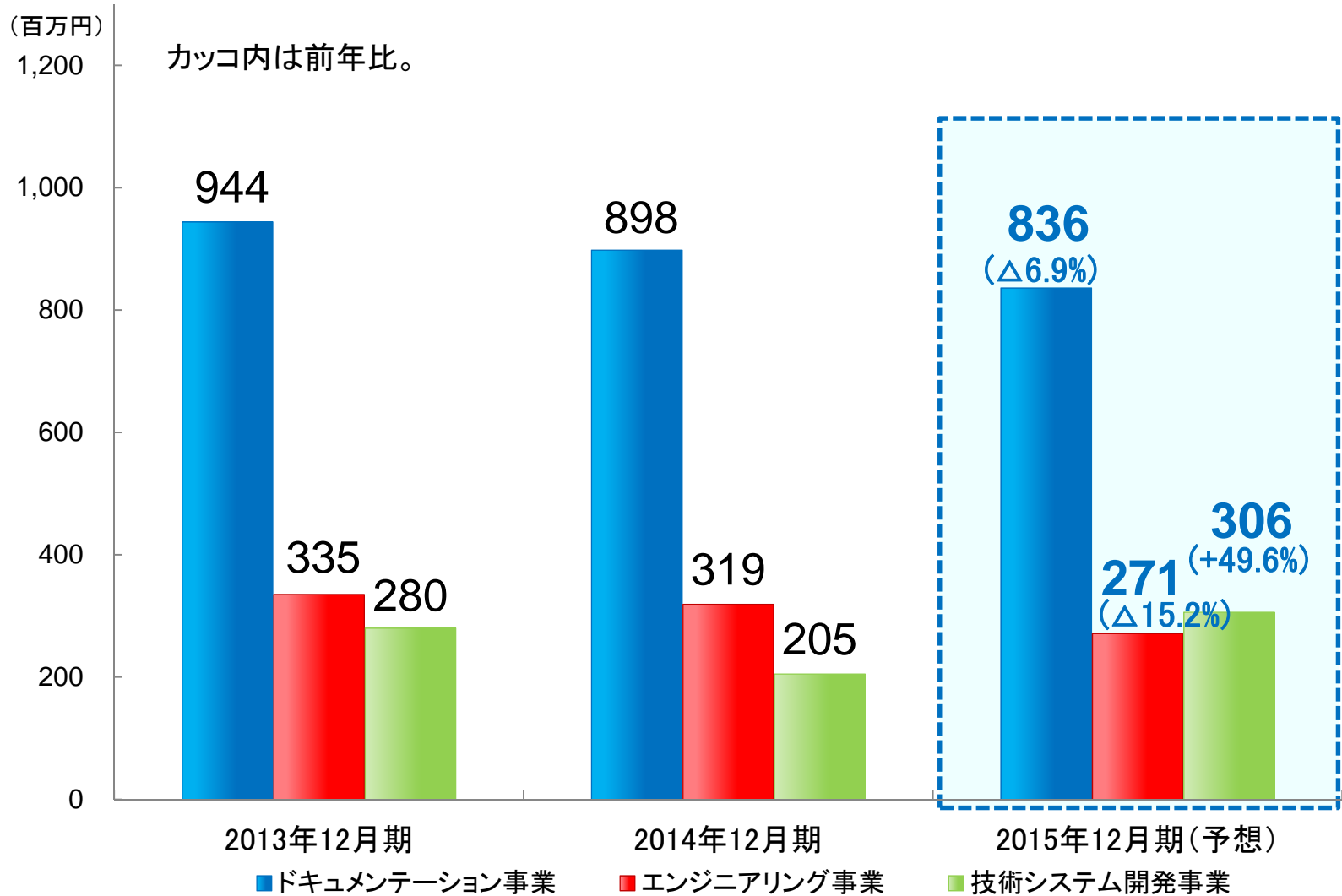


# 連結利益の推移(予想)

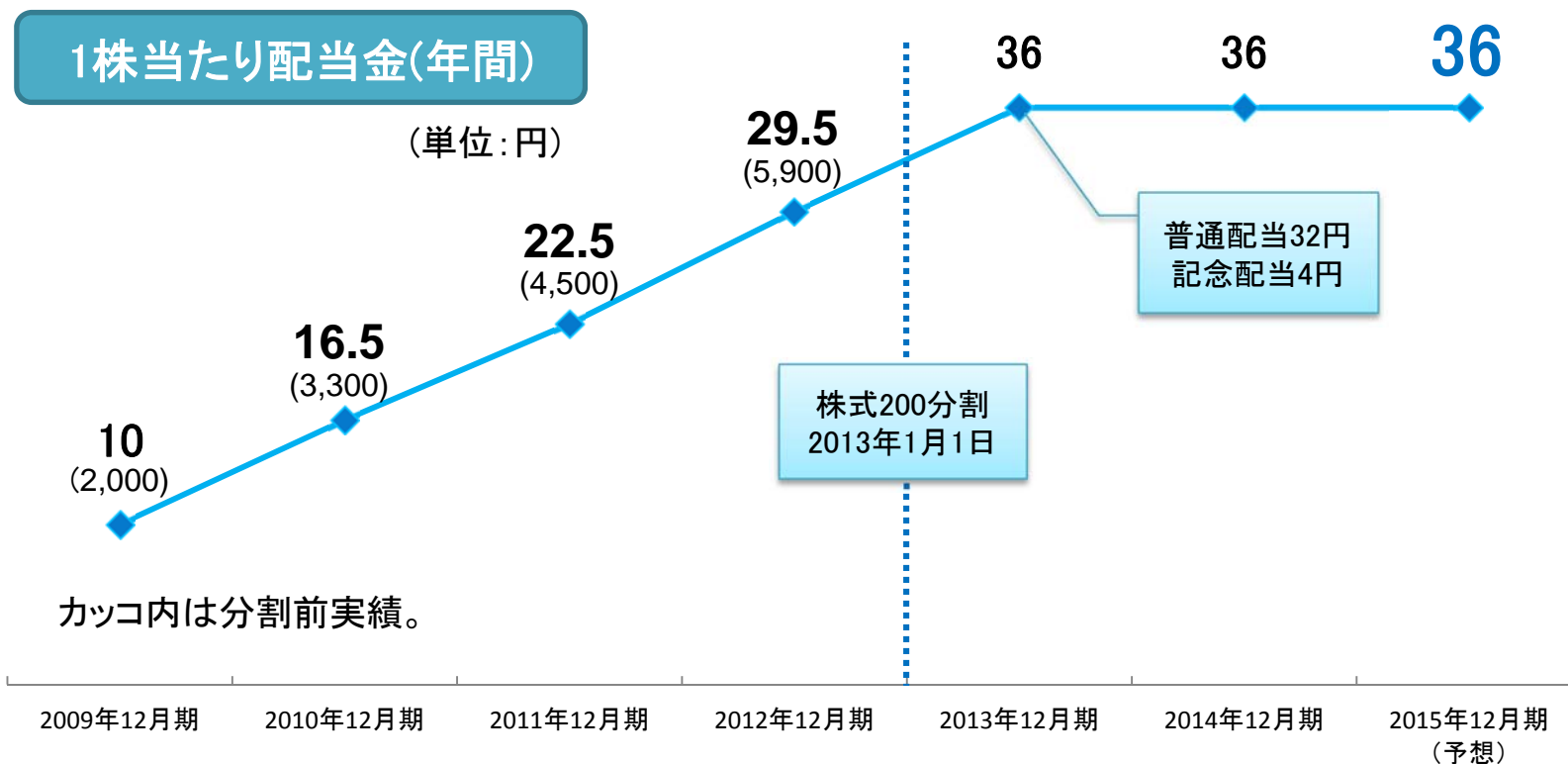


※ 2013年は従業員持株インセンティブプランの分配金274百万円を特別損失に計上。

# 2015年12月期 営業利益の事業別内訳(予想)



※ セグメント間調整は含まず。



	中間	期末	年間	配当性向
2013年12月期	16円	※ 20円	36円	54.6%
2014年12月期	18円	18円	36円	50.2%
2015年12月期(予想)	18円	18円	36円	53.4%

※ 2013年12月期1株当たり配当金20円の内訳は、普通配当16円、記念配当4円であります。

## バイナス工場の本格稼働

◇ ロボット・FAシステムの開発、組立部門を拡充、強化



## 民間事業

## バイナスの成長エンジン

- ◇ 食品・医薬品・農業・機械分野を中心に独自のセル型ロボット・FAシステムを開発・拡販
- ◇ 先端ロボット技術で差別化・新規顧客開拓

## 教育事業

## バイナスの収益基盤

- ◇ 工業高校、ポリテクセンター、大学から企業内教育までニーズ開拓
- ◇ 新商品投入による教育市場の活性化

- ◆ この資料は投資家の参考に資するため、CDS株式会社(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- ◆ 当資料に記載された内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。
- ◆ 本資料において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測ならびにリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- ◆ それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- ◆ 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。
- ◆ その他の掲載内容に関しても最新の注意を払っておりますが、不可抗力により情報に誤りを生ずる可能性もありますので、ご注意ください。
- ◆ 以上を踏まえ、投資を行う際は、投資家の皆様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

